3節 国際放送

国際放送は、世界の人々の日本に対する理解を 深め、国際的な文化・経済交流の発展を促し、ひ いては国際親善と人類の福祉に貢献することを目 的としている。

テレビ国際放送(NHKワールドTV)は、95年4月から、北米、欧州向けに開始した。98年4月からは、デジタル化によって、アジア・太平洋地域にも日本語、英語で1日18時間の放送を開始し、10月からは、ほぼ全世界向けに拡大した。

99年4月からは、1日の放送時間を19時間とし、10月からは24時間放送を開始した。

01年8月には、衛星を変更して、それまで受信できなかったアフリカ南部地域でも視聴が可能となった。08年10月に、外国人向け放送のNHKワールドTVは英語化率100%を達成した。また、邦人向け放送のNHKワールド・プレミアムは国内放送のニュース・情報番組に加え、娯楽を供する番組など、より多彩な番組編成を実現した。

09年2月に、英語ニュースを大幅に拡充し、国際放送局に新しく作ったニュース専用スタジオから24時間毎正時の編成とした。また、インターネットで24時間ライブストリーミングを開始し、ニュースと番組を放送と同時に配信している。同年12月、NHKワールドTVのHD(ハイビジョン)での放送を開始した。

16年7月、基幹衛星の伝送方式を変更し、NHKワールド・プレミアムのHDでの放送を開始した。

18年3月末現在、およそ3億世帯が受信可能である(一部時間視聴可能世帯を含む)。

NHKの短波によるラジオ国際放送は、35年に「海外放送」として開始した。戦後に一時中断、52年に「ラジオ日本」として再開した。

日本語と英語で放送する「全世界向け放送」(ジェネラル・サービス、一般向け放送)と、地域ごとの言語で放送する「世界各地域向け放送」(リージョナル・サービス)と合わせて、07年度前期までは22言語で、1日65時間放送していたが、海外発信が欧米を中心に短波放送からテレビにシフトしていくのに伴い、07年度後期より、短波放送の送信地域と送信時間を見直した。「全世界向け放送」を廃止して、地域に応じた効率的な情報発信を進め、ドイツ語、イタリア語など4言語を廃止し、18言語に縮小した。

一方、短波放送以外の新たな放送サービスとし

て、外国の放送事業者などが所有する送信施設を 借用し、中波・FM波による放送サービスを拡充 している。また、06年度後期より、衛星を使用し たラジオ国際放送を行っている。

国際理解の促進を図るとともに放送番組を補完 する観点から、インターネットにより国際放送の ニュース等の提供も積極的に行っている。

18年4月より、NHKワールドの外国語放送およびインターネットサービスの総称として「NHKワールド JAPAN」という名称を使うこととなった。それに伴い、TVのチャンネル名も「NHKワールドTV」から「NHKワールドJAPAN」に改称した。邦人向け放送の「NHKワールド・プレミアム」および「ラジオ日本」(日本語放送のみ)については名称を変更しない。

放送番組の編成

国際放送番組の編成は、年度ごとに「編集の基本計画」で編成方針、重点事項など基本事項を定める。この基本計画に基づき「放送番組編成計画」を策定し、新番組の概要、編成時間などの具体的な計画事項や、放送番組時刻表を定めている。

国際放送番組審議会は,「基本計画」の諮問に対して答申するなど,放送番組の適正化を図るため必要な事項を審議し,番組の編成や制作に役立てることを目的としている。

I. 国際放送の放送番組編集の 基本計画

海外の視聴者からの投書,番組内容についてのモニターや短波の受信状況についての技術モニターの報告,各種の調査などを参考にしつつ,17年度の番組提案を基に17年度の番組編成を検討し,「平成29年度国際放送番組編集の基本計画」の原案を策定した。原案は16年12月中旬の国際放送番組審議会に諮問し,了承するとの答申を受け,17年1月中旬の経営委員会で議決承認された。

以下に原文どおり掲げる (p.105まで)。記号などは本書の方式に合わせた。

1. 編集の基本方針

東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、日本に対する世界の関心が一段と高まる中、 海外発信のさらなる強化が求められています。

「NHKワールド」は、NHKの総力を挙げて、 こうした期待や関心に応えていきます。正確で客 観的なニュースや、幅広い良質なコンテンツを、 テレビ、ラジオ、インターネットなど多様なメディアを通じて発信することで、世界の視聴者から 選ばれる、魅力的な国際放送を目指します。

外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」は、世界の注目が集まる2020年に向け、世界最高水準の国際的公共メディアを目指します。平成29年度は、とくに、地域の情報の発信強化に重点的に取り組みます。ニュースでは、日本やアジアを中心とした情報発信のほか、世界の情報を的確に伝えるよう強化し、地域放送局と連携した全国各地の情報も海外に発信します。

番組では、地域の魅力を紹介する番組の放送枠を拡大し、地方発のコンテンツを大幅に増やします。また、国内放送との連携を強化して、NHKならではの魅力的なコンテンツを発信し、訪日外国人向けに実用的な情報を提供する番組やサービスも開発します。

在外邦人向け日本語チャンネル「NHKワールド・プレミアム」は、ニュース・情報番組を通じて、日本と世界のいまを伝えます。大規模地震、津波などの自然災害、事件・事故などの際には、迅速に国内との同時放送をおこない、海外で暮らす日本人や旅行者の安全・安心を守ります。

ラジオ国際放送「NHKワールド・ラジオ日本」は、日本語を含む18の言語で最新のニュースや防災・産業技術・伝統文化・芸術や日本各地の話題などを、全世界に発信します。また、在外邦人の安心・安全を支えるライフラインとしての役割をしっかりと果たします。

インターネットサービス「NHKワールド・オンライン」は、放送と連動して訪日外国人に向けた情報発信を強化します。また、モバイル端末向けアプリの開発・改善や、SNSの積極的な活用を通して、「NHKワールド」が発信する情報や番組コンテンツを世界のより多くの人々に届けます。

2. 編集の重点事項と各波の編集方針

(1)テレビジョン国際放送

○NHKワールドTV(英語・外国人向け放送)

・ニュースの一層の充実と強化

日本やアジアからのニュースを強化するとともに、世界で起きている事を的確に伝えます。アジア総支局などで簡易な中継システムの整備をすすめ、より迅速で質の高い情報発信に努めます。また、地域放送局と連携し、現地から伝えるキャラバンなどを通じて、地域情報を積極的に世界へ発信します。

・地方から世界へ発信する番組の大幅増

週末に、日本各地の魅力を伝える番組の放送枠を拡大します。地域放送局が制作した各地の暮らしや文化、自然などを紹介する番組を、月1回の放送から毎週放送に刷新するほか、自転車や鉄道で全国各地を旅する紀行番組を新設します。

・国内と連携し、幅広いコンテンツを開発

"キラーコンテンツ"である大相撲に関連する番組や、ドラマ、アニメなど、新たな視聴者層の開拓に資する、多彩な番組を開発します。さらに、国内放送の良質なコンテンツを積極的に海外発信し、国際的なプレゼンスを一層高めます。

・2020年に向け、訪日外国人に有用な情報を発信 モバイル端末での視聴を意識した、来日してす ぐ役立つ情報を提供する番組を開発します。さら に、旅行、観光関連の番組情報などをまとめたポータルサイトを新たに開発し、紀行番組などと連 動したサービスを提供します。

[放送時間]

世界全域…1日23時間以上が基本

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

- ○NHKワールド・プレミアム(日本語・在外邦 人向け放送)
- ・日本と世界のいまを伝える放送,「安全」と「安 心」を守る放送

主要ニュースを国内と同時放送し、最新の動きを伝えるとともに、世界各地の事情を伝える番組を放送します。また、内外で起きた大規模な地震、津波などの自然災害や、事件・事故などの際には、迅速かつ的確な情報の提供に努めます。

・日本を感じ、日本を考える番組

日本各地の実り豊かな自然を描く番組や、日本が抱える課題、将来像について考える番組を放送します。また、東日本大震災などで大きな被害を受けながらも復興に向けて取り組む人々の姿を伝えます。

〔放送時間〕

世界全域に向けた同一の番組編成…1日およそ 5時間

北米・欧州地域に向けた, 現地の生活時間にあ わせた番組編成…各1日およそ5時間

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組80%以上、インフォメーション番組5%以上、娯楽番組を若干編成します。

(2) ラジオ国際放送

○NHKワールド・ラジオ日本

(多言語・外国人向けサービス)

・多様な手段を駆使した情報発信

日本のニュースや話題を、17の言語を通じて全世界にわかりやすく伝えます。中波・FMや衛星ラジオによる送信、インターネット配信など、地域特性や受信環境に応じた放送サービスを提供します。

・世界のリスナーへ安全・安心を届け、日本への 理解を深める情報を発信

災害や有事の際には機動的に対応し、最新のニュースを的確に伝えます。さらに、日本が培った 防災ノウハウを発信し、世界のリスナーに安全・ 安心を届けます。

日本の産業技術・伝統文化・芸術や魅力あふれる地域の話題を紹介し、日本に対する理解を促進、 訪日意欲を喚起します。

[放送時間]

17言語・合計…1日およそ40時間30分

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(日本語・在外邦人向けサービス)

・最新のニュース・番組、安全・安心情報の提供 主要ニュースや情報番組、音楽番組などを国内 と同時に放送し、いまの日本を伝えます。また、 海外安全情報の更新頻度を高め、海外で働き、学 び、暮らす日本人の安全・安心に関わる事態にも 速やかに対応します。

〔放送時間〕

日本語…1日あたり24時間

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上、娯楽番組を若干編成します。

(3) インターネット

○NHKワールド・オンライン

・訪日外国人に実用的な情報を提供

NHKワールドTVとラジオ日本の紀行番組などの情報をまとめて紹介するポータルサイトを新設します。訪れたい場所に応じて番組動画を再生できる機能など、NHKワールドの番組の蓄積を生かして、訪日外国人に役立つ情報を提供します。

・モバイル端末向けアプリの拡充

スマートフォン・タブレット端末向けアプリで、 NHKワールドTVの英語ニュースを閲覧する機能 を強化します。ニュース記事や動画など、ホーム ページに掲載したコンテンツをアプリに効率的に 展開して利便性を高め、利用者増加を図ります。

・ソーシャルメディアを活用した情報発信のさら なる強化

NHKワールドの番組広報や海外イベントの告知に大きな効果を上げているソーシャルメディアを一層積極的に活用し、英語と多言語によるニュース・番組情報の発信をより拡充します。

Ⅱ. 国際放送番組審議会

17年度は11回開催された。会長の諮問に応じて、「平成30年度国際放送番組編集の基本計画(案)」について審議し答申したほか、定時番組、特集番組などについても審議し放送番組の適正化を図った。

17年度の主な審議内容は次のとおり。

- 4月 上田会長との意見交換,「国際放送強化の ために何をすべきか」について
- 5月 17年度新番組よりNHKワールドTV 『Anime Supernova』『#TOKYO』について
- 6月 NHKワールドTV『NHK NEWSLINE FOCUS』から<Lt. Onoda's Return: The Untold Story of a Japanese War Straggler> <Hibakusha's Stories A Historic Presidential Visit, One Year on Sunao Tsuboi: Long Journey for Peace>
- 7月 地域の情報を海外発信する番組よりNHK ワールドTV『Cycle Around Japan』 『SATOYAMA Café』について
- 9月 戦争と原発に関するドキュメンタリー番組 よりNHKワールドTV『NHK NEWSLINE FOCUS』<Our Lives in Fukushima>, 『Rescuing the Lost Battalion-The Story Behind the "Heroes"』 について
- 10月 映像コンテンツの多言語化について, NHKワールドTV「NHK World Prime」 より『Painting with Soul』について
- 11月 「平成30年度国際放送番組編集の基本計画 (案)」、NHKワールドTV「NHK World Prime」より『MIATARI Finders』につ
- 12月 「平成30年度国際放送番組編集の基本計画 (案)」(諮問・答申), NHKワールドTV 『HOME SWEET TOKYO』について
- 1月 NHKワールドTV『NHK WORLD presents

NHK年鑑'18

- SONGS OF TOKYO』『Imphal, The Aftermath』 について
- 2月 NHKワールドTV『NHK NEWSLINE FOCUS』 <N. KOREAN ABDUCTIONS A Global Concern>, 『Unfading Memories』 について
- 3月 東日本大震災の被災地・福島を取材した番組よりNHKワールドTV『BOSAI: An Educational Journey~Fukushima edition』『Fukushima TIME/LAPSE』について

番組制作

I. テレビジョン国際放送

(1) 外国人向け放送

外国人向け放送において、大相撲の各本場所の前に見どころを紹介する『GRAND SUMO Preview』、外国人レポーターが自転車で日本各地を巡る『Cycle Around Japan』、日本各地の個性的な鉄道に乗って旅する『Train Cruise』、SNSなどのビッグデータを駆使して東京の最新情報を届ける『#TOKYO』、日本の若きアニメーション作家たちの作品を紹介する『Anime Supernova』、札幌局が制作する『さわやか自然百景』をリメイクした『Wild Hokkaido!』、『ダーウィンが来た!生きもの新伝説』を英語化した『Darwin's Amazing Animals』を、年度後半からは『ETV特集』など選りすぐりのドキュメンタリーを世界に発信する『NHK WORLD PRIME』を新設した。

また、特集番組として、『Spiritual Places in Nara-Yoshino』『山の信州 夏旅スペシャル』『NEWSLINE FOCUS福島・6年目の故郷』『雪舟の禅 世界を魅了するミニマリズム』『コメディドラマ「HOME SWEET TOKYO」』『ノーベル平和賞授賞式中継』『母たちの祈り~フクシマとチェルノブイリ』『NEWSLINE FOCUS「N. KOREAN ABDUCTIONS A Global Concern」』『NHK WORLD presents SONGS OF

TOKYO』『BOSAI 学びの旅』などを放送したほか、キャンペーンとして、熊本、奈良、山形、長野、北海道、北陸・岐阜、大分、東北などの各地域に関連した番組を集中編成し、その魅力を世界に発信した。

(2) 邦人向け放送

1日およそ5時間『NHKニュース おはよう

日本』『NHKニュース7』『ニュースウオッチ9』 『クローズアップ現代+』『国際報道2017』などの報道番組に加え、『NHKのど自慢』『みんなのうた』などの娯楽番組を、国内と同時に放送した。また、東日本大震災からの復興、北朝鮮の核実験・弾道ミサイル発射、衆議院議員選挙と東京都議会議員選挙、ノーベル文学賞・平和賞、トランプ米大統領来日など、内外の重要ニュースを、在外邦人に迅速に提供した。

Ⅱ. ラジオ国際放送

17年度の外国人向け放送の放送時間は,17言語合わせて,1日当たり40時間30分。邦人向け日本語放送の放送時間は,1日当たり24時間。外国人向け放送と邦人向け放送を合わせると,18言語で,1日延べ64時間30分の放送を実施した。

(1) 外国人向け放送

17年度も9分と14分のニュース枠を継続し、東日本大震災からの復興、北朝鮮の核実験・弾道ミサイル発射、衆議院議員選挙と東京都議会議員選挙、ノーベル文学賞・平和賞、トランプ米大統領来日など、内外の重要ニュースを、日本の視点を踏まえて伝えた。なお、『英語ニュース』『スペイン語ニュース』『中国語ニュース』『ハングルニュース』『ポルトガル語ニュース』はラジオ第2でも放送した。

『プラグイン ニッポン』では、魅力あふれる 地域の話題紹介する「Topics Around the Country (各地の話題から)」や、日本が培った 防災ノウハウを紹介し、世界のリスナーに安全・ 安心を届ける「BOSAI」を新設した。英語放送 では、リスナーとの交流を目指す『Friends around the world』をラジオ第2と同時放送し た。

(2) 邦人向け放送

邦人向け放送においては、国際放送局が制作する日本語ニュースに加え、『海外安全情報』の更新頻度を高めるとともに、国内の主要ニュース、時事番組、スポーツ中継、音楽番組、ラジオドラマなど、多彩な番組を国内と同時放送した。このほか『NHKのど自慢』『ひるのいこい』『ちきゅうラジオ』『大相撲中継』『第68回NHK紅白歌合戦』等をラジオ第1と同時放送した。

Ⅲ. インターネット展開

◇概況

国際理解の促進を図るとともに放送番組を補完する観点から、インターネットサービス「NHKワールド・オンライン」では、国際放送のニュース・番組情報等を提供するとともに、テレビ・ラジオの放送中・放送後配信を実施するなど、積極的な情報発信を図っている。

1. テレビ関連サービス

(1) ホームページでのサービス

放送法第20条第2項第2号に基づく受信料財源 業務として、ホームページでNHKワールドTVの 英語ニュースや番組情報の掲載、放送中・放送後 の番組配信を実施した。

17年度は、新番組『Wild Hokkaido!』の独自ホームページを新設するとともに、すべての定時番組・特集番組の内容をホームページで紹介した。長野、北海道、大分、東北をテーマとした集中編成や、大型の特集番組『HOME SWEET TOKYO』『NHK WORLD presents SONGS OF TOKYO』の内容を紹介するホームページも特設した。

また、増加する訪日外国人に実用的な情報を提供するため、NHKワールドTVの紀行番組の動画を検索して旅行先の情報収集に利用できるポータルサイト「Travel Japan」を新設した。

(2) モバイルアプリでのサービス

スマートフォンやタブレット端末向けに、NHKワールドTVを放送中・放送後に視聴できるアプリを提供している。17年7月、英語ニュース記事を閲覧できる機能をアプリに追加した。18年2月には、国内の地震・津波情報とNHKワールドのニュース速報をスマートフォンやタブレット端末に英語で通知する機能をアプリに追加した。

(3) ビデオ・オン・デマンド

15年度より開始したビデオ・オン・デマンド (VOD) は、17年度はNHKワールドTVの41番組と特集番組を、主に放送後2週間の見逃しサービスとしてホームページとアプリで提供した。また、17年10月より、一部の番組を対象に、中国語、インドネシア語、タイ語などの字幕か音声吹き替えにより多言語化したVODの提供を開始した。

(4) その他のサービス

新番組『#TOKYO』『HAIKU MASTERS』

『J-Trip Plan』では、Facebookで番組情報を発信した。英語ニュースはTwitterで配信した。

2. ラジオ関連サービス

(1) ホームページでのサービス

放送法第20条第2項第2号に基づく受信料財源 業務として、ホームページでラジオ日本のニュー スや番組情報の掲載、放送中・放送後の番組配信 を実施した。

サービスの概要は次のとおりである。

- ○ニュース音声 (18言語)
- · 放送中, 放送後配信
- ・ポッドキャスティング (日本語を除く)
- ○テキストニュース(16言語)
- ・アラビア語, ベンガル語, ビルマ語, 中国語, フランス語, ヒンディー語, インドネシア語, ハングル, ペルシャ語, ポルトガル語, ロシア語, スワヒリ語, スペイン語, タイ語, ウルドゥー語, ベトナム語
- ・災害等緊急ニュース出稿時は随時更新
- ○ニュース動画(中国語)
- · 1日1回 (月~金) 更新
- ○企画動画
 - ・中国語 週2回(火・金) 更新
 - ・ポルトガル語 週1回(金)更新
- ○番組音声(18言語)
- ・放送中, 放送後に配信。放送後1週間公開
- ・日本語は『海外安全情報』(放送後),『ちきゅうラジオ』『沖縄熱中倶楽部』(放送中)
- ○番組特設ページ(17言語)
- ・『やさしい日本語』
- ·『Let's Cook Japanese』(料理番組)
- ・『Welcome to Amazing Japan!』 (旅番組)
- ・『物語で楽しむ日本の美』
- ・『The Hope and Peace Gallery』(アラビア語, 英語)

(2) モバイルアプリでのサービス

12年度より、スマートフォンやタブレット端末向けに、日本語を除く17言語のニュース・番組を放送中・放送後に聴取できるアプリを提供している。

(3) その他のサービス

NHK読み上げ版携帯サイトに英語,中国語, ハングル,ポルトガル語,スペイン語でニュース を配信している。

また、フェイスブックで17年4月にベトナム語、7月にインドネシア語とタイ語、18年1月に中国語のページを相次いで開設し、ニュースと番組情

報を発信している。Twitterでは、ポルトガル語 とスワヒリ語でニュースと番組情報を発信してい る。

広報・反響

I. 広 報

◇概況

NHKワールドTVについては、国内外に向けたさまざまなプロモーションも展開した。ラジオ日本では、海外でのイベント開催に加え、ネット広告も実施した。

$\Diamond PR$

1. NHKワールドTV関連の主な動き

外国人向けテレビジョン国際放送が世界各地でより広く理解され視聴されることを目指して、プロモーション活動を積極的に展開した。年間でおよそ20回、海外の主要都市や国際映画祭で番組上映会を開催。また、ロンドン、サンパウロ、パリ、香港、タイ、ミャンマーなど世界各地の日本文化イベントにブース出展し、チャンネルや番組の周知活動を行った。

このほか、年間を通じて、フェイスブックなどのソーシャルメディアを通じたプロモーション、海外の日本関連雑誌への広告、国際線機内上映広告、国内空港での大型看板掲出を行い、外国人向けテレビジョン国際放送やその視聴用アプリを紹介するPRを継続的に実施した。

そのほか、国際放送、ホームページ、印刷物等により、ラジオおよびテレビジョンの番組情報の周知を実施した。海外関係公的機関等に対して、番組表・パンフレット等を提供した。

2. ラジオ日本関連

(1) イベント関連

- 4月 ベンガル暦の新年を祝う「バングラデシュカレー祭り」が16日,東京都豊島区で開催されたのに併せ,ベンガル語放送では、PRならびに受信契約への理解促進のため、ラジオ日本のパンフレットと受信料契約案内(英語版)を配布した。
- 9月 タイのバンコクで開催された「The Japan EXPO in Thailand 2017」にタイ語放送が参加。「防災の日」に当たる1日,動画「つ

くってまもろう」を活用したステージショーを開催した。

18日,中国語放送が日中国交正常化45周年 特集の一つとして、中国系住民の多い埼玉 県川口市で防災をテーマにしたイベント 「日中防災スタンプラリー in 芝園団 地」を開催し、公開収録するとともにラジ オ日本のPRを行った。

10月 9月30日から10月1日の2日間、東京・お台場で開催された国際協力に関わる政府、民間団体の活動を紹介するイベント「グローバルフェスタJAPAN2017」にブース出展し、ラジオ日本のPRと公開収録を行った。NHKワールドのブースでは、「Easy Travel Japanese」や「NHKワールド・ラジオ日本紹介」のビデオクリップを上映するとともに、異文化を体験できるプログラムを用意し、多言語サービスへの理解促進を図った。

(2) インターネット

4月にベトナム語のフェイスブックアカウントを開設。ベトナム語でニュースと番組情報の発信を開始した。日本とベトナムに関するニュースについても積極的に発信した。

7月には、タイ語、インドネシア語のフェイス ブックアカウントも開設。ニュースと番組情報、 ならびに日本とタイ、インドネシアに関するニュ ースについて発信を開始した。

10月、紛争地域に生きる子どもたちの平和への 思いを託した絵を掲載する英語、アラビア語の特 設ホームページ「平和のギャラリー〜紛争地の子 供の絵」を開設した。『クローズアップ現代+』 と連動し、アラビア語放送がシリア、イラクなど に呼びかけて、「楽しい思い出」「紛争中の悲しい できごと」「今の暮らし」「将来の夢」をテーマに 描いた絵を募集し、一部を動画化して掲載した。

1月,中国語のフェイスブックアカウントを開設。ニュースや番組情報の中国語による発信を開始した。

3. NHKワールド全般 紙媒体等の展開

(1)紙媒体

NHKワールドの役割やサービス内容を紹介する「ガイドブック(英語・日本語)」、NHKワールドTVの全番組を放送時刻表とともに紹介するパンフレット、NHKワールドTVを紹介するチラシ(英語・日本語)、ラジオ日本の周波数表、ラジオ日本の番組内容などを紹介するチラシ(17言

語)を発行、国内外の政府機関・民間企業・日本 人会などに送付し、PRに努めた。なお、すべて の印刷物データはウェブサイトにて公開し、ダウ ンロードできる。

(2) 「NHKワールドカレンダー」フォトコンテ スト

16年度に引き続きNHKサービスセンターと共催した。受賞作品はNHKサービスセンターが制作する壁掛けカレンダーと卓上カレンダーのほか、受信報告に答えるためのベリカードや絵はがき、NHKワールド・オンラインのダウンロードサービスに使用した。カレンダーは、各国大使館・領事館、海外の放送局、日系人協会、日本人学校などに配布し、NHKワールドのPRを行った。

(3) NHK出版語学テキストへの広告出稿

国内の英語学習者へのPRとして、英語テキストを中心に語学テキストに広告を出稿した。

◇モニター

18年3月現在,テレビ番組モニター63か国255人,ラジオ番組モニター28か国48人,ラジオ技術モニター36か国46人という体制である。

Ⅱ. 反響

◇反響の周知と活用

(1)投書数

NHKワールド・ラジオ日本への17年度の郵送・ Eメール・SMS (ショートメッセージサービス) による投書数は約3万2,000件で,16年度と比べ て1割程度の減少となった。

17年度のNHKワールドTVへの海外からのEメール等での投書数は、約1万通で、16年度とほぼ同数であった。

(2) 反響の活用

「NHKワールドTV宛 Eメールウイークリーリポート」を週1回、「NHKワールド・ラジオ日本投書概況・受信概況」「NHKワールド・ラジオ日本モニター報告」「NHKワールドTV モニター報告&視聴者反響」「地方局発ニュース企画の反響」を月1回まとめ、国際放送局の各番組担当者にフィードバックして、放送の質のさらなる向上に役立てた。

技術 • 施設

I. テレビの送受信

NHKワールドTVは、英語による「外国人向けテレビ国際放送」で、09年2月に専用スタジオを設け、24時間毎正時、ニュースを放送している。09年12月には、標準画質の放送に加え、ハイビジョンによる放送も開始した。放送はノンスクランブル(無料)で、インテルサット社の3つのCバンド衛星を使い、ほぼ全世界をカバーしている。

受信には直径2.5m程度のパラボラアンテナが必要なため、小型のアンテナで受信できる衛星(Kuバンド)や地域のCATV、IPTVなどを通じて、より簡便に視聴できるよう受信環境の整備を進めている。17年度末には、35機の衛星でおよそ160か国のエリアをカバーし、約3億世帯で視聴が可能となった。

NHKワールド・プレミアムは、NHKワールド TVと同じ3つのCバンド衛星で、海外のCATV や衛星放送局などの放送事業者にNHKの番組を 有償で配信し、各事業者が提供する日本人向けの テレビチャンネルである。

テレビジャパンは北米NCMA社 (NHK Cosmomedia America, Inc., ニューヨーク)が, JSTVは欧州NCME社 (NHK Cosmomedia Europe Ltd., ロンドン)が,衛星 (Kuバンド)等を使って91年から実施している有料の邦人向けサービスである。NHKや民放の番組にスクランブルをかけて放送している。

NHKワールド・プレミアムとテレビジャパン, JSTVを使って、1日およそ5時間、ノンスクランブルの「邦人向けテレビ国際放送」を実施している。

Ⅱ. ラジオの送信

17年度も、NHKワールド・ラジオ日本は、八 俣送信所からの短波放送および海外中継局からの 短波・中波・超短波による送信を行うとともに、 衛星による放送を実施した。また、18年1月15日、 香港で超短波の番組提供を開始した。

○八俣送信所 (短波)

送信機6台(300kW:5台,100kW:1台), アンテナ18式を利用し25方向で送信。ラジオ国際 放送を,1日47時間40分送信した。

109 NHK年鑑'18